

今年度の事業報告



ともに生きるきっかけ学習会

8月2日に中央市玉穂生涯学習館において、地域における共生社会の実現と、地域住民への障がいについての理解を深めるため、「ともに生きるきっかけ学習会」を開催しました。

7回目の開催となる今回は「身体障がい者に対する理解を深めるために」をテーマに、韮崎高校出身でサッカー解説者・JFA公認S級コーチの羽中昌さんを講師に迎え「車椅子のサッカー監督の挑戦～経験したことから見えてきたもの～」と題し、これまで経験されたことや、夢をもつことの大切さなどを話していただきました。クイズも出され、正解時には羽中さんが出版した本のプレゼントもあり、また質問コーナーでは障がいやサッカーについて答えてもらいました。

今回の学習会には、約130名の参加者があり、「実際に当事者である羽中さんの話を伺うことができ、また自分にできる事がはっきりとわかった」「自分の気持ち次第であきらめない事が大事だと感じました」との感想も聞かれ、理解と支援について考える機会となりました。

講演いただいた中で、スペインにおける【手動の自動ドア】についてのお話が心に残り、誰もがさりげなく手を差し伸べていけるような地域になれば共生社会を作り上げることができるだろうと感じました。



れんげ会 (交流の場・身近な生活に関連するテーマを皆で話し合ったり学んだりする場である当事者会)



第1回目のれんげ会を5月18日に昭和町総合会館にておこないました。9名の参加者と「休日の楽しみ方を話し合ってみませんか？」をテーマに、イラストを使ってO×クエスチョンで話しやすく進めた中、参加者からは「自分の考えとは違う意見を聞いて良かった」「自分の思っている事を素直に話せた」という声もいただきました。また、8月17日には第2回目を玉穂総合会館でおこない、5名の参加者と「働かって何だろうを話し合ってみませんか？」をテーマに、現在企業就労されている方に来ていただき、一般就労・一般就労の障がい者枠・福祉就労の3つの働き方の違いについて話をしてもらい、「自分の考えとは違う意見を聞いて良かった」「様々な働き方がある事を知った」と感想がありました。

今後のれんげ会の予定

11月16日(土)	たまほそうごうかいかん 玉穂総合会館	「自分のお金をどう使ってますか？」
2月15日(土)	しょうわちょうそうごうかいかん 昭和町総合会館	「みんなで一緒にスポーツをしてみませんか？」

中央市・昭和町障がい者相談支援センター

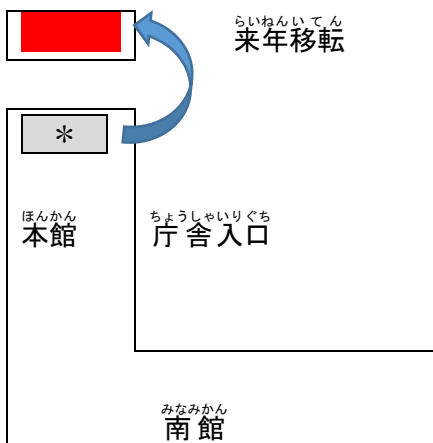
穂のか通信 (第7号) 発行 令和元年8月20日

住所：中央市臼井阿原 301-1 TEL:055-274-1100 FAX:055-274-1103

穂のかってどんなところ？

中央市・昭和町に在住の障がいのある方やそのご家族のための相談窓口です。穂のかでは訪問・来所・電話・メール等で相談支援をおこないます。

※秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。



お知らせ

5月7日より中央市役所本館での業務が始まりましたが、現在、来年1月14日の開所に向けて本館北側に穂のか事務所を建設しております。ご利用される方にはご迷惑をおかけしますが、ご協力のほど宜しくお願いします。





ル・ヴァン

【法人名】社会福祉法人 忠恕会
 【住所】中央市成島3508-13
 【電話】055-242-8800
 【FAX】055-242-8801
 【mail】levent@clenarth.com
 【HP】<http://www.clenarth.com>
 【設備など】アクセス：イオンタウン東側、駐車場：25台



サービス名	定員	送迎	活動内容 ほか
就労移行支援	6名	あり	一般就労に向けた活動（施設外実習の実施、企業見学、求職活動など） パン、マフィン製造・販売など
就労継続支援B型	30名	あり	パン、マフィン製造・販売など



【事業所からのPR】

たくさんのおいしいパン・マフィンをお客様に提供するため、パン職人を中心とした本格的・活気ある取り組みを行うとともに、専門の知識をもった就労支援員が、就職に向けたサポートを行うなどの取り組みを行っています。

あおぞら

【法人名】社会福祉法人 ひとふさの葡萄 【住所】中巨摩郡昭和町押越2215-1
 【電話】055-287-9040 【FAX】055-287-7082
 【mail】hitofusa@ninus.ocn.ne.jp 【HP】<http://www.hitofusa.org/>

サービス名	定員	送迎	活動内容 ほか
放課後等デイサービス	10名	あり	療育をプログラムに沿って行う。
居宅介護	—	—	自宅での家事援助・身体介護
行動援護	—	—	
移動支援	—	—	がいしゅつしえん 外出支援
日中一時支援	—	—	しせつ にちちゆう いちじてき あす 施設での日中の一時的な預かり



【事業所からのPR】

本人が自己実現の芽を育てていけるよう支援しています。

「中央市・昭和町地域自立支援協議会」について

じりつしえんきやうぎかい
 自立支援協議会ってなあに？



⇒ 当事者（障がいのある人）、家族、さまざまな関係機関（福祉、医療、教育、保健、就労など）が集まり、相互に連携を取りながら「障がいのある人が安心して暮らせる地域づくり」という共通認識のもと、地域の実態や課題などについて把握しながら、障がいのある人の地域生活を支えるための協議の場です。

今年度は、『精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築』について検討しています。

⇒ 精神障がいの方が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるよう、どんなことに不安があるか、どうすれば医療、障がい福祉・介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保できるか検討しています。

※ 中央市や昭和町の地域の皆様からの、お気づきの点がありましたらご連絡お待ちしております。



※1 在院期間が1年以上の精神障がいのある人は、全国で約17万人。

※2 病院以外の場所で“たんの吸引”や“経管栄養”など、その全体の3割が地域での居住・支援が無い場合、家族が本児に対し、生きていく上で必要な医療的援助。退院出来ない現状があります。

